

よこひな通信

年度末号 令和7年3月12日発行



「ほんねんど しえんありがと
本年度も、ご支援有難うございました」

こうちょう かたおか あつひこ
校長 片岡 充彦

ちいき みなさま ほごしゃ みなさまほんねんどほんこうきょういくりかいきょうりよくいただりありがと
地域の皆様、保護者の皆様 本年度も本校の教育に、ご理解とご協力を頂き有難うございました。

れいわねんどせいとめいねんせいめいそつぎょうフーカ
令和6年度は、生徒127名でスタートし、3年生42名が本校を卒業します。*VUCAといわれるこの

じだいねんかんしんしんせいちょうしゃかいいっぽふだそつぎょうせいおお
時代ですが、この3年間で心身ともに成長し、社会に一步を踏み出す卒業生には、大いなるエールを
おくおもみらいむはそつぎょうせい
送りたいと思います。「未来に向かって羽ばたけ 卒業生！」

フーカ さきゆふとうめいしょうらいよそくこんなん
*VUCA・・・先行きが不透明で将来の予測が困難な状態

こんねんどあらねんかんきょういくけいかくせつていしてんひとちいききょうどう
さて、今年度は、新たな4年間の教育計画を設定しました。その視点の一つに「地域との協働」があ
ります。本校の「地域との協働を旨とした特色ある教育活動」は、特に作業学習が担っています。

はんばいせいそうさぎょうせいひんのうにゅうのうえんとうさぎょうたどくべつしえんがっこうひかくかつどうたよう
パン販売・清掃作業・製品納入・農園等での作業、他の特別支援学校と比較してもその活動の多様さ
と地域の協力体制は学校として胸を張れるものがありますし、それは、「自己肯定感」といった子ども

ちいききょうりよくたいせいがっこうむねはじここうていかんこ
の心の成長にも重要な役割を果たしています。ただ、地域や学校は「時代とともに変容する」と捉え
ると、地域の皆様からの「物理的な場」の支援だけでなく、「共生社会」「ウェルビーイング」といった考

ちいきみなさまぶつりてきばしえんきょうせいしゃかいかんが
え方に基づいた、「地域と学校との共通の目標」を設定していくことも必要ではないかと思ひます。
さらには、この地域の自治会、教育機関や福祉機関、医療機関、企業等々が、「同じ目標」をもって「人

そだぶんかこうちくさいこう
を育てていく文化が構築できれば最高です。

こうとうぶねんだんしせいとさくひんぜんこくどくべつしえんがっこうぶんかさいそうけいひじゅつぶもんしょう
高等部2年男子生徒の作品が、全国特別支援学校文化祭「造形・美術」部門で、「りそなグループ賞」
を受賞しました。2月8日(土)に、りそなグループ東京本社にて表彰式があり、受賞作品は、り

ほんしゃぜんこくこうとうがっこうぶんかさいてんじどくべつしえんがっこうぶんかれんめいれいわねんぱん
そなグループ本社や全国高等学校文化祭での展示、また特別支援学校文化連盟令和8年版カレンダーに
けいさいよてい
掲載予定です。おめでとうございます!!